

(様式第9)

番 号
平成21年10月5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人
理事長

昭和大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	57 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	327人	380人	555.0人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	0人	2.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	86人
薬剤師	52人	0人	52.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	0人	その他	0人
助産師	50人	1人	50.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	2人
看護師	833人	18人	843.8人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	1人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	0人	事務職員	153人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	43人	その他の職員	8人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	700.2 人	0 人	700.2 人
1日当たり平均外来患者数	1578.5 人	15.7 人	1594.2 人
1日当たり平均調剤数	3454.8		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髓小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術(インスリーノマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、腓管内腫瘍その他の腓良性腫瘍に係る腓体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパーヴァー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパーヴァー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉砕骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	65人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	31人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	11人
・多発性硬化症	10人	・ウエゲナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	26人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	4人
・全身性エリテマトーデス	206人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	32人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	14人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	3人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	99人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	61人	・特発性大腿骨頭壊死症	11人
・結節性動脈周囲炎	14人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	112人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	6人	・特発性間質性肺炎	2人
・ビュルガー病	6人	・網膜色素変性症	1人
・天疱瘡	0人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	11人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	60人	・神経線維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	39人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月に8回開催		
剖検の状況	剖検症例数	68 例	剖検率 11.9 %

(様式第11号)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
1	頭部外傷データバンク【プロジェクト2004】における自転車事故に関連した重症頭部検討	土肥 謙二	救急医学	100,000	補 日本交通科学協議会
2	外傷症例登録制度を利用した交通事故による外傷と交通事故データベースの事故形態とのマッチング-日本独自の交通事故分析と交通事故死・後遺症の軽減を目指して-	三宅 康史	救急医学	250,000	補 三井住友海上福祉財団
3	自殺企図者に対する救急外来(ER)・救急科・救命救急センターにおける手引き作成の意義	有賀 徹	救急医学	1,000,000	補 厚生労働省科研費
4	災害時における消防と医療の連携に関する研究	三宅 康史	救急医学	2,710,000	補 救急振興財団
5	「HIFU(強出力集束超音波)の胎児治療への応用に関する基礎研究」	岡井 崇	産婦人科	6,400,000	補 文部科学省 日本学術振興会科学研究費 補助金事業基盤研究(A)
6	「妊娠高血圧症候群の病態解明および発症予防についての研究」	関沢明彦	産婦人科	1,700,000	補 日本学術振興会 科研費 基盤C
7	「プレバイオティクスによる早産抑止機序の基礎的解析」	大槻克文	産婦人科	1,600,000	補 日本学術振興会 科研費 基盤C
8	「PCRを用いたゲノムワイドな遺伝子解析法の開発とその出生前診断への応用」	松岡 隆	産婦人科	1,700,000	補 日本学術振興会 科研費 基盤C
9	「新しい胎児・胎盤機能評価装置の開発および臍帯・胎盤異常の病態解明に関する研究」	長谷川潤一	産婦人科	1,000,000	補 日本学術振興会 科研費 基盤C
10	「母体血中RNAを用いた癒着胎盤の発症予知法の開発」	岡崎志帆	産婦人科	2,200,000	補 日本学術振興会 科研費 若手B
11	「全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成」	岡井 崇	産婦人科	23,000,000	補 厚生労働科学研究補助子ども家庭総合研究事業
12	「更年期障害心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究」	長塚正晃	産婦人科	500,000	補 厚生労働省精神・神経疾患 研究委託費
13	「わが国における新しい妊婦検診体制構築のための研究」	関沢明彦	産婦人科	1,000,000	補 厚生労働科学研究補助子ども家庭総合研究事業
14	「18-公3 胎児炎症反応症候群(FIRS)の制御に向けた基礎的・臨床的研究」	大槻克文	産婦人科	1,800,000	補 平成20年度成育医療研究委 託事業
15	「20-公1 周産期医療における先進的診断技術の開発と応用に関する研究」 吉村志帆	吉村志帆	産婦人科	1,500,000	補 平成20年度成育医療研究委 託事業
16	「酸化ストレスと組織障害機構解明及びその予防と治療への応用」	関沢明彦	産婦人科	1,600,000	補 昭和大学共同研究
17	研究科特別経費(研究)	市塚清健康	産婦人科	2,000,000	補 昭和大 医学部 研究科特別 経費(研究)

計17件

(注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

	研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
18	昭和大学学術振興資金	大槻克文	産婦人科	2,000,000	補 昭和大学学術振興資金
19	科研費 特定領域研究	河村満	神経内科	2,200,000	補 文部科学省
20	科研費 基盤研究(C)	河村満	神経内科	1,200,000	補 文部科学省
21	科研費 新学術領域研究	河村満	神経内科	2,800,000	補 文部科学省
22	難治性疾患克服研究事業(厚生労働省科学研究費補助金)	飯島正文	皮膚科	2,000,000	補 愛媛大学
23	院内感染防御のための臨床分離細菌の分子疫学解析	五味邦英	臨床病理	1,040,000	補 文部科学省科学研究費補助金
24	癌抑制遺伝子p21を癌の診断に利用するための基礎研究	福地邦彦	臨床病理	910,000	補 文部科学省科学研究費補助金

計7件

合計 24件 62,210,000

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	教室名
1	アレルギー・免疫	気管支喘息に対するHFA-BDPとFPの多施設無作為比較試験-末梢気道炎症ならびにQOLの変化を中心として-	足立 満	呼吸器・アレルギー内科
2	THERAPEUTIC RESEARCH	Safety and Efficacy of Inhaled Ciclesonide in Long-term Administration to Adult Patients with Bronchial Asthma	Adachi M	呼吸器・アレルギー内科
3	アレルギー	本邦における喘息のコントロールと管理の変化	足立 満	呼吸器・アレルギー内科
4	Respiratory Medicine	Comparison of salmeterol/fluticasone ropionate(FP)combination with FP+sustained release theophylline in moderate asthma patients	Adachi M	呼吸器・アレルギー内科
5	J Occup Health	Effects of SO2 on Respiratory System of Adult Miyakejima Residen 2 Years after Returning to the Island	Iwasaki S	呼吸器・アレルギー内科
6	Allergology International	Hydrofluoroalkane-beclomethasone dipropionate effectively improves airway eosinophilic inflammation including the distal airways of patients with mild to moderate persistent asthma as compared with FP in a randomized open double-cross study	Ohbayashi H	呼吸器・アレルギー内科
7	アレルギー	Hydrofluoroalukan-beclomethasone dipropionateと Fluticasone Propionateの喘息気道炎症と健康関連 QOL改善に対する多施設無作為比較試験結果	大林浩幸	呼吸器・アレルギー内科
8	アレルギー	10%高張性食塩水15分間吸入誘発喀痰法による喘息安定期の末梢気道炎症評価	大林浩幸	呼吸器・アレルギー内科
9	Proc Natl Acad Sci U S A	Transactivation of EGF receptor and ErbB2 protects intestinal epithelial cells from TNF-induced apoptosis.	Yamaoka T	呼吸器・アレルギー内科
10	Respirology	Patient satisfaction with conscious sedation for flexible bronchoscopy	Hirose T	呼吸器・アレルギー内科
11	Psycooncology	Patient willingness to undergo chemotherapy and thoracic radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer	Hirose T	呼吸器・アレルギー内科
12	Ann Oncol	Genetic testing for UGT1A1*28 and *6 in Japanese patients who receive irinotecan chemotherapy.	Akiyama Y	呼吸器・アレルギー内科
13	Biol Pharm Bull	Association of ATP-binding cassette, sub-family C, number 2 (ABCC2) genotype with pharmacokinetics of irinotecan in Japanese patients with metastatic colorectal cancer treated with irinotecan plus infusional 5-fluorouracil/leucovorin (FOLFIRI)	Fujita K	呼吸器・アレルギー内科
14	昭和医学会雑誌	骨芽細胞によるCX3CL1の発現とその調節 関節リウマチの病態形成への関与	磯崎健男	呼吸器・アレルギー内科

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
15	Int Arch Allergy Immunol.	Increase in reactive oxygen metabolite level in acute exacerbations of asthma.	Suzuki T	呼吸器・アレルギー内科
16	Am J Respir Cell Mol Biol.	Differential regulation of eotaxin expression by dexamethasone in normal human lung fibroblasts.	Suzuki T	呼吸器・アレルギー内科
17	アレルギー・免疫	患者調査から浮かび上がる喘息治療の現状と課題 成人喘息患者を対象としたインターネット調査より	美濃口健治	呼吸器・アレルギー内科
18	Shock	Activated protein C attenuates leukocyte elastase-induced lung injury in mice.	Tanaka A	呼吸器・アレルギー内科
19	Showa Univ J Med Sci	Risk Factors for Frequent Asthma Exacerbation in Japanese Patients with Refractory Asthma.	Yamamoto M	呼吸器・アレルギー内科
20	アレルギー	気管支喘息の早期診断基準の提言	杉山公美弥	呼吸器・アレルギー内科
21	Atherosclerosis.	Remarkable increase of apolipoprotein B48 level in diabetic patients with end-stage renal disease.	Hayashi T	糖尿病・代謝・内分泌内科
22	J hypertens	Chronic urotensin II infusion enhances macrophage foam cell formation and atherosclerosis in apolipoprotein E-knockout mice.	Shiraishi Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
23	J Atherosclerosis Thromb	Significant increase of apolipoprotein B48 level by a standard test meal in type 2 diabetic patients with nephropathy.	Yamamoto T	糖尿病・代謝・内分泌内科
24	Rinsho Byori	Remnant lipoprotein cholesterol homogeneous assay (RemL-C) is closely associated with very-low-density lipoprotein remnants: comparison with the immunoseparation assay.	Nagashima M	糖尿病・代謝・内分泌内科
25	J Atheroscler Thromb.	Small LDL-cholesterol is superior to LDL-cholesterol for determining severe coronary atherosclerosis.	Koba S	糖尿病・代謝・内分泌内科
26	J Hypertens.	Chronic urotensin II infusion enhances macrophage foam cell formation and atherosclerosis in apolipoprotein E-knockout mice.	Shiraishi Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
27	J Atheroscler Thromb.	Significant increase of apolipoprotein B48 levels by a standard test meal in type 2 diabetic patients with nephropathy.	Yamamoto T	糖尿病・代謝・内分泌内科
28	Hypertens Res.	Serum salusin-alpha levels are decreased and correlated negatively with carotid atherosclerosis in essential hypertensive patients.	Watanabe T	糖尿病・代謝・内分泌内科

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
29	Hypertens Res.	Chronic insulin infusion normalizes blood pressure and the gene expressions of angiotensin II type 1 receptor in fructose-fed rats.	Fukui T	糖尿病・代謝・内分泌内科
30	Clin Sci(Lond)	Increased plasma urotensin-II levels are associated with diabetic retinopathy and carotid atherosclerosis in Type 2 diabetes.	Suguro T	糖尿病・代謝・内分泌内科
31	J Lipid Res.	A simple and precise method for measuring HDL-cholesterol subfractions by a single precipitation followed by homogenous HDL-cholesterol assay.	Hirano T	糖尿病・代謝・内分泌内科
32	J Clin Endocrinol Metab	Linkage analysis of thyroid antibody production: evidence for shared susceptibility to clinical autoimmune thyroid disease.	Ban Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
33	Proc Natl Acad Sci USA	Molecular amino acid signatures in the MHC class II peptide-binding pocket predispose to autoimmune thyroiditis in humans and in mice.	Ban Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
34	Mod Rheumatol	Effect of the H2 Receptor Antagonist Nizatidine on Xerostomia in Patients with Primary Sjogren's Syndrome	Kasama T	リウマチ膠原病内科部門
35	J Rheumatol	Clinical features of hemophagocytic syndrome in patients with dermatomyositis	Yajima N	リウマチ膠原病内科部門
36	J Inflamm Res	Synergistic induction of CX3CL1 by TNF- α and IFN- γ in osteogenic cells from rheumatoid arthritis: Involvement of NF- κ B and STAT-1 signaling pathways	Isozaki T	リウマチ膠原病内科部門
37	心身医学	Infliximab治療はmethotrexate単独治療と比較してより強力に関節リウマチ患者の抑うつ状態を改善する	三輪裕介	リウマチ膠原病内科部門
38	心身医学	Infliximab治療による関節リウマチ患者の抑うつ状態改善の機序	三輪裕介	リウマチ膠原病内科部門
39	Showa Univ J Med Sci	Clonal Expansion of B cells is identified in Japanese Patients Infected with Hepatitis C virus.	Inokuchi M	消化器内科学部門
40	BBRC	Characterization of infectious hepatitis C virus from liver-derived cell lines	Akazawa D	消化器内科学部門
41	BBRC	Trans-encapsidation of hepatitis C virus subgenomic replicon RNA with viral structure proteins	Ishii K	消化器内科学部門
42	J Virol	Critical role of virion-associated cholesterol and sphingolipid in hepatitis C virus infection	Aizaki H	消化器内科学部門

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
43	Showa Univ J Med Sci	Regeneration after Two Types of Rat Acute Pancreatitis Compared with Human Autoimmune Pancreatitis	Yamazaki T	消化器内科学部門
44	Cancer Sci	Dendritic cells stimulated with CpG oligodeoxynucleotides and IFN-alpha-expressing tumor cells effectively reduce outgrowth of established tumors in vivo	Hiraide A	消化器内科学部門
45	Hepato Res	Intrahepatic status of regulatory T cells in autoimmune liver diseases and chronic viral hepatitis	Sakaki M	消化器内科学部門
46	J Pharmacol Sci	Vulnerability of gastric mucosa to prednisolone in rats chronically exposed to cigarette smoke	Takeuchi Y	消化器内科学部門
47	Digestion	Prokinetics influence the pharmacokinetics of rabeprazole	Arai K	消化器内科学部門
48	Int Immunol	Role of V α 14+ NKT cells in the development of Hepatitis B virus-specific CTL: activation of V α 14+ NKT cells promotes the breakage of CTL tolerance	Ito H	消化器内科学部門
49	Rad Fan	【造影超音波法の工夫】 Differential THI low MI modeを使用した位置センサーによる3D造影超音波検査の有用性	佐々木勝己	消化器内科学部門
50	Rad Fan	【ソナゾイドを用いた肝腫瘍の造影超音波検査】 治療支援リアルタイム4D表示による穿刺手技支援	佐々木勝己	消化器内科学部門
51	Rad Fan	【ソナゾイドを用いた肝腫瘍の造影超音波検査】 Differential THI low MI modeを用いたソナゾイド造影超音波検査	佐々木勝己	消化器内科学部門
52	臨床医薬	肝臓ダイナミックCTにおけるイオメプロール 350mgI/mLの投与方法および投与量に関する検討(臨床第II/III相試験) 体重比用量群と固定用量群との多施設共同ランダム化比較試験	粟井和夫	消化器内科学部門
53	Digestion & Absorption	重症急性性肺炎に対するsynbiotics療法の試み	北村勝哉	消化器内科学部門
54	J Med Virol	Infection of B cells with hepatitis C virus for the development of lymphoproliferative disorders in patients with chronic hepatitis C.	Inokuchi M	消化器内科学部門
55	Minophagen Medical Review	C型慢性肝炎患者におけるB細胞HCV感染とリンパ増殖性疾患についての検討	井口桃子	消化器内科学部門
56	Hepato Res	Magnitude of CD8+ T-cell responses against hepatitis C virus and severity of hepatitis do not necessarily determine outcomes in acute hepatitis C virus infection	Doi H	消化器内科学部門

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
57	Jan J Electrophysiol	心房細動における動物間(小動物、大動物、ヒト)の類似点と相違点 ヒトにおける心臓の解剖と病理	井上 紳	内科学講座循環器内科学部門
58	Eur J Nucl Med Mol Imaging	Cardiac sympathetic nerve abnormality predicts ventricular tachyarrhythmic events in patients without conventional risk of sudden death.	Akutsu Y	内科学講座循環器内科学部門
59	Eur J Nucl Med Mol Imaging	Technetium-99m pyrophosphate/thallium-201 dual-isotope SPECT imaging predicts reperfusion injury in patients with acute myocardial infarction after reperfusion.	Akutsu Y	内科学講座循環器内科学部門
60	J Nucl Med	The Significance of Cardiac Sympathetic Nerve System Abnormality for Long-term Prognosis in Patients with a History of Ventricular Tachyarrhythmia.	Akutsu Y	内科学講座循環器内科学部門
61	J Nucl Cardiol	Delayed Heart Rate Recovery after Adenosine Stress Testing with Supplemental Arm Exercise Predicts Mortality.	Akutsu Y	内科学講座循環器内科学部門
62	Clin Nucl Med	Thallium-201 and I-123 Beta-methyl Iodophenyl-pentadecanoic Acid Dual Isotope SPECT for Evaluating Reperfusion Injury in a Patient with Acute Coronary Syndrome.	Akutsu Y	内科学講座循環器内科学部門
63	J Am Coll Cardiol	Provoked coronary spasm predicts adverse outcome in patients with acute myocardial infarction: a novel predictor of prognosis after acute myocardial infarction.	Wakabayashi K	内科学講座循環器内科学部門
64	Circ J	High-dose granulocyte-colony stimulating factor promotes neointimal hyperplasia in the early phase and inhibits neointimal hyperplasia in the late phase after vascular injury.	Shoji M	内科学講座循環器内科学部門
65	J Atheroscler Thromb atherosclerosis	Small LDL-cholesterol is superior to LDL-cholesterol in determining severe coronary atherosclerosis.	Koba S	内科学講座循環器内科学部門
66	医学と薬学	Small, dense LDLコレステロールキットによる家族性複合型高脂血症診断の評価	平野 勉	内科学講座循環器内科学部門
67	J Lipid Res	A simple and precise method for measuring HDL-cholesterol subfractions by a single precipitation followed by homogenous HDL-cholesterol assay.	Hirano T	内科学講座循環器内科学部門
68	血圧	本態性高血圧治療におけるロサルタンと少量サイアザイド系利尿薬併用療法の有用性について? Ca拮抗薬効果不十分例における検討?	下司映一	内科学講座循環器内科学部門
69	Eur J Clin Invest	Elevation of matrix metalloproteinases and interleukin-6 in the culprit coronary artery of myocardial infarction.	Suzuki H	内科学講座循環器内科学部門
70	Int J Cardiol	G-CSF after myocardial infarction accelerates angiogenesis and reduces fibrosis in swine.	Sato T	内科学講座循環器内科学部門

小計 14件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
71	Circulation	Impact of Salusin- α and ?? on Human macrophage foam cell formation and coronary atherosclerosis.	Watanabe T	内科学講座循環器内科学部門
72	心電図	J wave syndromeと考えられた特発性心室細動の1例	三好史人	内科学講座循環器内科学部門
73	心臓	加算平均心電図による洞調律維持の予測	秋本瑞穂	内科学講座循環器内科学部門
74	medicina	めまい・失神(不整脈記録から)	丹野 郁	内科学講座循環器内科学部門
75	医学のあゆみ	心拍数調節と洞調律維持-大規模前向き研究からカテーテルアブレーションへ Catheter ablation as first-line therapy for atrial fibrillation-Lessons from randomized control trials	丹野 郁	内科学講座循環器内科学部門
76	JPN . J .ELECTROCARDIOLOGY	心房細動の洞調律維持におけるカンデサルタンとベプリジルの有用性の検討	河村光晴	内科学講座循環器内科学部門
77	心電図	神経調節性失神患者の心拍変動-ホルダー心電図とTask Force Monitorの比較	箕浦慶乃	内科学講座循環器内科学部門
78	PACE	Hemodynamics Changes after Tilting and the Efficacy of Preventive Drugs	Minoura Y	内科学講座循環器内科学部門
79	JGMS	The Effect of Pioglitazone on Nitric Oxide Synthase in Patients With Type2 Diabetes Mellitus	Nishio K	内科学講座循環器内科学部門
80	癌と化学療法社	治療切除不能の進行・再発結腸・直腸癌に対するOxaliplatin(L-OHP)+Infusional 5-FU/LV療法(FOLFOX4レジム)の安全情報確認試験	末永光邦	腫瘍内科
81	診療と新薬	ビモヘンタン錠1.25mg「TE」及びビモヘンタン錠2.5mg「TE」の健康成人における生物学的同等性試験	前田 彰	腫瘍内科
82	Visual Dermatology	SJS/TEN症例数調査2005?2007(速報値) 一重症薬疹データベース事務局から	北見 周	皮膚科学教室
83	Clin Exp Dermatol	Effects of oral administration of ciclosporin A on skin carcinogenesis: a study using the two-stage carcinogenesis protocol in mice	Yajima Y	皮膚科学教室
84	J Environ Dermatol Cutan Allergol	重症薬疹データベース化の試み(その1) 速報 第一次アンケート結果	北見 周	皮膚科学教室

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
85	医業の門	昭和大学病院における真菌培養のまとめ	北見由幸	皮膚科学教室
86	J Invest Derm	Functional characterization of IL-17F as a selective neutrophil attractant in psoriasis	Watanabe H	皮膚科学教室
87	J Derm Sci	Adapalene gel 0.1% is effective and safe for Japanese patients with acne vulgaris: A randomized, multicenter, investigator-blinded, controlled study	Kawashima M	皮膚科学教室
88	Aesthet Dermatol	第1度酒さに対するIPLの有用性の画像解析による評価	神田弘貴	皮膚科学教室
89	International Journal of psychophysiology	Gender differences in lateralization of mismatch negativity in dichotic listening tasks	Satoru Ikezawa	精神医学教室
90	日本がん看護学会誌	大学病院で活動する緩和ケアチームの支援内容—参加観察の結果から—	笹原朋代	精神医学教室
91	Int J Neurosci	Thought disorder and executive dysfunction in patients with schizophrenia.	Owashi TK.	精神医学教室
92	口腔衛生学会雑誌	統合失調症入院患者の唾液分泌に及ぼす因子の解析—分泌量と服薬・病態との関連性について—	村田尚道	精神医学教室
93	日本歯科医学会誌	精神障害者の口腔環境・機能の実態—抗精神薬はどこまで影響するか—	向井美恵子	精神医学教室
94	Psychiatry Res 164: 58–72, 2008.	Changes in glucose metabolism due to aging and gender-related differences in the healthy human brain.	Fujimoto T	精神医学教室
95	Psychiatr Genet	Association study of the commonly recognized breakpoints in chromosome 15q11–q13 in Japanese autistic patients.	Kato C	精神医学教室
96	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Association study of the 15q11–q13 maternal expression domain in Japanese autistic patients.	Kato C	精神医学教室
97	Int J Neuropsychopharmacol	Mitochondrial DNA-dependent effects of valproate on mitochondrial calcium levels in transmitochondrial cybrids.	Kazuno AA	精神医学教室
98	Mitochondrion	Relationships between mitochondrial DNA subhaplogroups and intracellular calcium dynamics.	Kazuno AA	精神医学教室

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
99	Mol Psychiatry	Aberrant DNA methylation associated with bipolar disorder identified from discordant monozygotic twins.	Kuratomi G	精神医学教室
100	Neuroscience	FK506-protective effects against trimethyltin neurotoxicity in rats: Hippocampal expression analyses reveal the involvement of periarterial osteopontin.	Morita M	精神医学教室
101	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Birth months and vulnerability to juvenile delinquency. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 32: 49-53, 2008.	Ohtani T	精神医学教室
102	Neurosci Res	Gene expression profiling of major depression and suicide in the prefrontal cortex of postmortem brains.	Tochigi M	精神医学教室
103	Biol Psychiatry	Methylation status of the reelin promoter region in the brain of schizophrenic patients.	Tochigi M	精神医学教室
104	Cereb Cortex	Gender-common and -specific neuroanatomical basis of human anxiety-related personality traits.	Yamasue H	精神医学教室
105	Cereb Cortex	Sex-linked neuroanatomical basis of human altruistic cooperativeness.	Yamasue H	精神医学教室
106	Neurosci Lett.	Establishment of human cell lines showing circadian rhythms of bioluminescence. Neurosci Lett, 2008.	Yoshikawa A	精神医学教室
107	Pharmacogenetics and Genomics.	Association of morphine-induced antinociception with variations in the 5' flanking and 3' untranslated regions of the μ opioid receptor gene in 10 inbred mouse strains.	Shigeta Y	精神医学教室
108	J Hum Genet	Association and interaction analyses of NRG1 and ERBB4 genes with schizophrenia in a Japanese population.	Shiota S	精神医学教室
109	高次脳機能研究	日本版前頭葉性行動質問紙 Frontal Behavioral Inventory (FBI)の作成	松井三枝	精神医学教室
110	Psychogeriatrics	reserved priming but insensitivity to perceptual fluency on recognition judgments in Alzheimer's disease	Yano M	精神医学教室
111	認知リハビリテーション2007	被験者実演課題がアルツハイマー病患者の記憶に及ぼす影響	小林仁美	精神医学教室
112	認知リハビリテーション2008	失語症者への遠隔言語聴覚療法の試み	藤田佳男	精神医学教室

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
113	Int J Psychophysiol	Gender differences in lateralization of mismatch negativity in dichotic listening tasks.	Ikezawa S	精神医学教室
114	J Affect Disord	Executive dysfunction in medicated, remitted state of major depression.	Nakano Y	精神医学教室
115	Int Psychogeriatr	Association between apathy/depression and executive function in patients with Alzheimer's disease.	Nakaaki S	精神医学教室
116	Alzheimer Dis Assoc Disord	Impact of depression on insight into memory capacity in patients with Alzheimer disease.	Nakaaki S	精神医学教室
117	Depress Anxiety	Hypofrontality in panic disorder and major depressive disorder assessed by multi-channel near-infrared spectroscopy.	Ohta H	精神医学教室
118	Neuropathology	Progressive supranuclear palsy combined with Alzheimer's disease: A clinicopathological study of two autopsy cases.	Sakamoto R	精神医学教室
119	Dement Geriatr Cogn Disord	SPECT-identified neuroanatomical predictor of the cognitive effects of donepezil treatment in patients with Alzheimer's disease.	Hongo J	精神医学教室
120	高次脳機能研究	両側前頭葉損傷に出現したforced gazing(強制凝視)について	船山道隆	精神医学教室
121	Neurosci Lett	Detection of hypofrontality in drivers with Alzheimer's disease by near-infrared spectroscopy.	Tomioka H	精神医学教室
122	Open Neurol J	Dissociation of exact and approximate calculation in severe global aphasia	Urano M	精神医学教室
123	臨床病理	昭和大学病院におけるβ-lactamase非産生ampicillin耐性Haemophilus influenzaeの検出状況およびPBP3遺伝子解析	山口史博	臨床病理学教室
124	臨床病理	ラテックス凝集免疫測定法による梅毒TP抗体検査の評価と意義	藤森ちなみ	臨床病理学教室
125	昭和医学会誌	◎昭和大学病院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検出率と耐性遺伝子の分析	黒田高明	臨床病理学教室
126	Showa Univ J Med Sci	◎Investigation of the origin of MRSA infection with pulsed field gel electrophoresis in the NICU	Rahman MS	臨床病理学教室

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
127	日本内視鏡外科学会誌(日鏡外会誌)	WebカメラとNote PCを用いたポータブル内視鏡下手術トレーニングシステム	山本 滋	胸部心臓血管外科
128	昭和医学会雑誌	接触式血管形状センサを用いた血管粘弾性の測定	福岡正臣	胸部心臓血管外科
129	金沢大学十全医学会雑誌	低体温循環停止におけるhuman atrial natriuretic peptide(hANP)の腎臓保護効果の研究	手取屋岳夫	胸部心臓血管外科
130	呼吸と循環	胸部瘻術後リハビリテーションの検討	尾本正	胸部心臓血管外科
131	Japanese Journal of Cardiovascular Surgery	Congenital Coronary Artery Fistula associated with Infective Endocarditis of the Mitral Valve.	Ohno M	胸部心臓血管外科
132	Gen thorac Cardiovasc Surg	Mitral valve repair for infective endocarditis.	Omoto T	胸部心臓血管外科
133	Asia Cardiovascular and Thoracic Annals	Hypothermic Circulatory Arrest: Renal Protection by Atrial Natriuretic Prptide.	Ohno M	胸部心臓血管外科
134	American Journal of Obstetrics and Gynec	Evaluation of physiological alterations of the placenta through analysis of cell-free messenger ribonucleic acid concentrations of angiogenic factors	Purwosunu Y	産婦人科学教室
135	American Journal of Obstetrics and Gynec	Prediction of preeclampsia by analysis of cell-free messenger RNA in maternal plasma	Purwosunu Y	産婦人科学教室
136	Prenat Diagn	Gene expression in chorionic villous samples at 11 weeks' gestation from women destined to develop preeclampsia	Farina1 A	産婦人科学教室
137	Methods Mol Biol	Detection and quantification of fetal DNA in maternal plasma by using LightCycler technology	Purwosunu Y	産婦人科学教室
138	Reprod Sci	PP13 mRNA Expression in Trophoblasts From Preeclamptic Placentas	Sekizawa A	産婦人科学教室
139	The Journal of Obstetrics and Gynaecolog	Recombinant human lactoferrin inhibits matrix metalloproteinase (MMP-2, MMP-3 and MMP-9) activity and maturation of cervix in a rabbit preterm delivery model	Nakayama K	産婦人科学教室
140	J Med Ultrasonics	Sequential changes in rat femoral artery blood flow and tissue degeneration after exposure to high-intensity focused ultrasound	ISHIKAWA T	産婦人科学教室

小計 14件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
141	Fetal Diagn Ther	Intrapartum Fetal Heart Rate Pattern in Oligohydramnios.	Hasegawa J	産婦人科学教室
142	Infant Behavior & Development	Root of Smile : A preterm neonates' study	Kawakami K	産婦人科学教室
143	J Obstet Gynaecol Res	Safety and usefulness of emergency maternal transport using helicopter	Ohara M	産婦人科学教室
144	Fertil Steril	Hyperglycosylated human chorionic gonadotropin and the source of pregnancy failures	Sasaki Y	産婦人科学教室
145	J Reprod Med	Japanese Trial for Classification of Gestational Trophoblastic Disease	Sasaki S	産婦人科学教室
146	日本産科婦人科学会誌	常位胎盤早期剥離(早剥)の診断・管理は？	関沢明彦	産婦人科学教室
147	日本周産期・新生児医学会雑誌	新生児早期における吸引処置の有用性	中島陽子	産婦人科学教室
148	日本産科婦人科学会雑誌	ハイリスク妊娠・分娩の管理 臍帯異常の早期診断とハイリスク群の抽出及び管理に関する研究	長谷川潤一	産婦人科学教室
149	心身医学	特別講座 心身症診断・治療ガイドライン2006・Summary 更年期障害	木村 武彦	産婦人科学教室
150	日産婦崎玉地方部会誌	女性のライフステージと健康 ～女性の一生のQOLをサポートする医療を目指して	清水幸子	産婦人科学教室
151	日本産科婦人科学会千葉地方部会誌	総合周産期母子医療センター開設後の母体搬送の現状	鈴木 真	産婦人科学教室
152	日本産科婦人科学会 神奈川地方部会誌	平成18年度 神奈川産科婦人科医会 婦人科悪性腫瘍登録集計報告	小野瀬亮	産婦人科学教室
153	MB Derma	増殖因子を用いた熱傷治療(速度と質の改善)	上村哲司	形成外科
154	あたらしい眼科	顔面神経麻痺形成術によって角膜混濁に対する角膜移植が施行できた1例	鹿嶋友敬	形成外科

小計 14件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
155	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	副鼻腔粘液嚢胞に対する涙道内視鏡を用いた手術治療	姜洪仁	形成外科
156	日手会誌	母指内転拘縮におけるmicrodissection法を用いた大腿筋膜穿通枝皮弁の有用性	木村直弘	形成外科
157	Annals of Plastic Surgery	A simplification for harvesting medial plantar venous flap with communicating veins -usefulness of preoperative ultrasound imaging-	Yokoyama T	形成外科
158	昭和医学会誌	鹿児島における皮膚悪性腫瘍の統計的観察	大塚康二郎	形成外科
159	日形会誌	ダーモスコピー像のフラクタル次元解析	苅部大輔	形成外科
160	日形会誌	重度な正中唇裂に対する鼻形成術の経験	三川信之	形成外科
161	Pediatr Surg Int	Left displacement of the mediastinum determines the imbalance in the pulmonary vascular bed and lung volume in children with pectus excavatum	Shimoyama S	形成外科
162	日形会誌	萎状血管腫に対する免疫組織学的検討—退縮期におけるリンパ管新生—	高木信介	形成外科
163	J. Dermatolog. 2008	Giant microcystic adnexal carcinoma of the scalp	Matsushita S	形成外科
164	形成外科	上気道閉塞症例に対する下顎骨延長術の検討	佐藤兼重	形成外科
165	JEADV2008	Superficial acral fibromyxoma on the tip of the big toe: expression of CD10 and nestin.	Misago N	形成外科
166	日形会誌	平行型[頬骨—頬骨型(仮称)]内固定延長期を使用したLe Fort III型上顎骨延長術	佐藤兼重	形成外科
167	日手会誌	Wrap around flap採取後欠損再建における各種thin flapの比較検討	木村直弘	形成外科
168	Eur J Plast Surg	A comprehensive protocol of general burn treatment with microdissected thin flaps ? a preliminary report	Kimura N	形成外科

小計 14件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
169	J. Plast. Reconstr. Aesth. Surg.	Marionette traction for Le Fort I maxillary Halo distraction in cleft patients	Satoh K	形成外科
170	形成外科	間欠洗浄機能を付加した陰圧閉鎖療法 (vacuum-assisted closure therapy) を用いた糖尿病性足潰瘍の治療経験	田邊 毅	形成外科
171	J CRANIOFAC SURG	Secondary correction of deformities of the vermilion with exposed oral mucosa after cleft lip repair	Mitsukawa N	形成外科
172	J Plast Reconstr Aesthet Surg	Reconstruction of the hand skin defects by microdissected mini anterolateral thigh perforator flaps	Kimura N,	形成外科
173	日頭顎顔会誌	重度心疾患合併患者に対する上下顎骨切り術の経験	三川信之	形成外科
174	日頭顎顔会誌	先天性鼻咽腔閉鎖不全症を伴ったDandy-Walker症候群の1例	功部大輔	形成外科
175	JOHNS	舌小帯短縮症(舌癒着症)への手術を積極的にすべきか? 一積極的な立場から	土佐泰祥	形成外科
176	形成外科	硬口蓋前方閉鎖に用いた口腔前庭粘膜弁の合併症について	三川信之	形成外科
177	日手会誌	各種の指再建における第2足趾部分移植の有用性	木村直弘	形成外科
178	形成外科	口蓋裂二次手術としての再口蓋弁後退法の適応一咽頭弁形成術との比較をもとにして	大久保文雄	形成外科
179	日頭顎顔会誌	赤唇部色素性母斑に対する顕微鏡下短冊状皮膚剥離術の治療経験	飯田直成	形成外科
180	日美外報	自家表皮細胞浮遊液による表皮細胞移植を用いた刺青除去・熱傷・白斑治療とその長期経過	加王文祥	形成外科
181	日美外報	前額部シリコンインプラント摘出後に生じた巨大異物肉芽腫の治療経験	三川信之	形成外科
182	日本マイクロ	再接着指・静脈灌流障害におけるヘパリンカルシウム皮下注入の適応について	横山才也	形成外科

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
183	Scand J Plast Reconstr Surg and Hand Su	Haemangioma of the forehead: Radiographical diagnosis and definitive surgical treatment in a Japanese series	Satoh K	形成外科
184	治療	重症虚血肢に伴う創傷	上村哲司	形成外科
185	J Reconstr microsurgery	Versatility of a second toe planter flap	Kimura N	形成外科
186	PLAST RECONSTR SURG	Concept and Anatomical Basis of Microdissected Tailoring Method for Free Flap Transfer	Kimura N	形成外科
187	PEPARS	足、下腿の難治性潰瘍に対する付加治療法	上村哲司	形成外科
188	形成外科	耳介手術後の耳介保護:種々の簡易的工夫	三川信之	形成外科
189	瘻痕・ケロイド治療ジャーナル	肥厚性瘻痕・ケロイドの分類と評価-スコア化の試み	土佐泰祥	形成外科
190	Int J Urol	Relationship between testicular size by ultrasonography and testicular function: Measurement testicular length, width, and depth in patients with infertility	Sakamoto H	泌尿器科学教室
191	日本性機能学会雑誌	Varicocele due to a reflux flow through distal collateral vein	Sakamoto H	泌尿器科学教室
192	J Urol	Is Varicocele Associated With Underlying Venous Abnormalities? Varicocele and the Prostatic Venous Plexus	Sakamoto H	泌尿器科学教室
193	臨泌	表在膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の作用機序	小川良雄	泌尿器科学教室
194	Int J Urol	Influence of hospital and surgeon volumes on operative time, blood loss and perioperative complications in radical nephrectomy	Yasunaga H	泌尿器科学教室
195	日本性機能学会雑誌	糖尿病に合併した勃起不全に対するクエン酸シルデナフィルの効果	押野晃和彦	泌尿器科学教室
196	日本性機能学会雑誌	Non-ischemic priapismの2例	七条武志	泌尿器科学教室

小計 14件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
197	日本性機能学会雑誌	選択的血管塞栓術を施行した特発性非虚血性持続勃起症の1例	押野晃和彦	泌尿器科学教室
198	日本性機能学会雑誌	A case of idiopathic priapism performed selective arterial embolization	Oshinomi K	泌尿器科学教室
199	泌尿器外科	過活動膀胱を有する前立腺肥大症患者のタムスロン塩酸塩による症状改善効果	小川良雄	泌尿器科学教室
200	薬理と治療	クラリスロマイシン代謝物のIL-8産生抑制作用	鈴木美雪	耳鼻咽喉科学
201	薬理と治療	Inhibitory action of epinastine hydrochloride on the function of monocyte-derived dendritic cells in vitro	Kogahara T	耳鼻咽喉科学
202	薬理と治療	クラリスロマイシン代謝物の樹状細胞活性化抑制作用	徳丸岳志	耳鼻咽喉科学
203	耳展	当科における耳下腺腫瘍の検討	嶋根俊和	耳鼻咽喉科学
204	頭頸部自律神経	サブスタンスP産生に及ぼす塩酸フェキソフェナジンの効果	金井憲一	耳鼻咽喉科学
205	頭頸部自律神経	当科における嗅覚障害に対する漢方治療の検討	内田淳	耳鼻咽喉科学
206	日耳鼻感染誌	入院加療を要した小児ムコブス中耳炎	小林一女	耳鼻咽喉科学
207	日鼻誌	副鼻腔疾患から視器障害を生じた7例	古矢彩子	耳鼻咽喉科学
208	日職災医誌	めまい患者入院症例の検討	渡辺尚彦	耳鼻咽喉科学
209	日味と匂会誌	嗅覚障害における人参養栄湯の効果について	篠美紀	耳鼻咽喉科学
210	日気食会報	急性喉頭蓋炎の臨床的検討	寶地信介	耳鼻咽喉科学

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
211	Audiology Japan	職場騒音と騒音性難聴の実態について 特に従業員50人未満の小規模事業所における騒音の現状と難聴の実態調査	和田哲郎	耳鼻咽喉科学
212	In Vivo	Suppressive activity of epinastine hydrochloride on eosinophil activation in vitro.	Mochizuki Y	耳鼻咽喉科学
213	In Vivo	Modulation of eosinophil survival by epinastine hydrochloride, an H1 receptor antagonist, in vitro	Watase F	耳鼻咽喉科学
214	In Vivo	Evidence for passing down of postnasal drip into respiratory organs	Kogahara T	耳鼻咽喉科学
215	Mediators Inflamm	Inhibition of angiogenic factor production from murine mast cells by an antiallergic agent (epinastine hydrochloride) in vitro	Asano K	耳鼻咽喉科学
216	Int J COPD	Suppressive activity of tiotropium bromide on matrix metalloproteinase production from lung fibroblasts in vitro	Asano K	耳鼻咽喉科学
217	Biol Pharm Bull	◎Mechanism of Salivary Secretion Enhancement by Byakkokaninjinto	Yanagi Y	耳鼻咽喉科学
218	日東洋医誌	◎眩暈症に対する鍼灸治療の効果	門倉義幸	耳鼻咽喉科学
219	Allergy Immunology	Increase in Reactive Oxygen Metabolite Level in Acute Exacerbations of Asthma	Suzuki S	救急医学
220	神経外傷	頭部外傷と酸化ストレス:フリーラジカルモニタリングとその臨床応用について	土肥 謙二	救急医学
221	Regulatory Peptides	CSF orexin-A/hypocretin-1 concentrations in Patients with intracerebral hemorrhage (ICH)	Dohi K	救急医学
222	Transmitters and Modulators in Health and	Expression and localization of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) specific receptor (PAC1R) after traumatic brain injury in mice	Morikawa K	救急医学
223	J Mol Neurosci	Role of PACAP in Ischemic Neural Death	Ohtaki H	救急医学
224	Regulatory Peptides	Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) type 1 receptor (PAC1R) co-localizes with activity-dependent neuroprotective protein (ADNP) in the mouse brains	Nakamaichi T	救急医学

小計 14件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

	雑誌名	題名	発表者	教室名
225	医療薬学	調整過誤防止に向けたTHERP法によるインシデント要因分析の試み	北原 加奈之	救急医学
226	日本救急医学会雑誌	電話救急医療相談におけるプロトコルの導入とその効果	森村 尚登	救急医学
227	The Open Critical Care Medicine Journal	Expression and localization of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) specific receptor (PAC1R) after traumatic brain injury in mice	Morikawa K	救急医学
228	Pancreas	A peculiar variant of pancreatoblastoma in an adult	Ohike N	病理診断科
229	Pathol Res Pract	Lobular Endocervical glandular hyperplasia might become a precursor of adenocarcinoma with pyloric gland features	Ohta Y	病理診断科
230	Showa Univ J Med Sci	A case of recurrent tumor of parotid gland: identified as microinvasive carcinoma ex pleomorphic adenoma by HER2/neu Immunohistochemistry	Kunimura T	病理診断科
231	Hepatol Res	Intrahepatic status of regulatory T cells in autoimmune liver disease and chronic viral hepatitis	Sasaki M	病理診断科
232	J Infect Chemother	The first nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by The Japanese Society of Chemotherapy	Niki Y	臨床感染症学
233	J Infect Chemother	Evaluation of clinical dosage of gatifloxacin for respiratory tract infections in elderly patients based on pharmacokinetics/pharmacodynamics	Niki Y	臨床感染症学
234	日化療会誌	慢性閉塞性肺疾患症例の急性増悪に対するニューキノロン系抗菌薬とβ-ラクタム系抗菌薬の有用性	東山康仁	臨床感染症学
235	Chemotherapy	Comparative study on the efficacy of liposomal amphotericin B and boriconazole pulmonary aspergillosis model	Takemoto K	臨床感染症学

小計 11件

合計235件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 飯島 正文
管理担当者氏名	管理課 沼尻 克己

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌は管理課、それ以外は診療録管理室に保管	病院日誌は各年度ごとに保管。それ以外は1患者1ファイル及び1ジャケットまたは、1入院1診療録単位に診療記録をファイリングし、外来、入院、X線写真を区分して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課に保管	
	高度の医療の提供の実績	管理課に保管	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課に保管	
	高度の医療の研修の実績	管理課に保管	
	閲覧実績	診療録管理室に保管	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室に保管	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部に保管		
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	管理課に保管	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室に保管	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	管理課に保管	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	管理課に保管	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	管理課に保管	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	平成19年4月1日策定：各診療科、部門、病棟、外来、検査室の院内感染防止対策基本マニュアル内に保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	月1回定例会開催：議事録、出席状況は感染管理室に保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回実施：資料、出席状況は感染管理室に保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染防止対策委員会にて毎月報告。ICTが調査、介入したものを含む。 感染管理室に保管
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理課に保管 放射線部に保管 (医療機器安全管理責任者)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (研修会を年4回実施)
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 重要7品目について策定し実施している
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (各メーカー及びPmdaから情報を収集し、当該機器は改修し、安全ニュースを発行)		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病 院 長 飯 島 正 文
閲覧担当者氏名	診療情報管理士 鎌 倉 由 香
閲覧の求めに応じる場所	診療録管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.4%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	12,664人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,284人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,524人	
	D：初診の患者の数	39,500人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (9) 名 ・ 活動の主な内容： 1) 医療安全対策の推進に関すること。 2) 医療事故に関する報告窓口業務。 3) 医療事故に関する初期情報収集と対応。 4) 医療事故等の原因究明と必要な指導を行うこと。 5) 医療安全管理について職員への教育及び周知徹底業務。 6) 医療安全管理・対策委員会の議事録に関する業務。 7) 訴訟に関する業務。 8) 当該事故関係医療従事者を支援すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容：別添 1	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：医療事故等の防止・安全管理体制の確保	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
4月23日：テーマ「医療機器の安全使用について」「感染・ウィルス性感染症について」参加者886名 6月30日：テーマ「感染・手指衛生の取り組み」「接遇について」参加者831名 9月30日：テーマ「薬剤の安全管理について」「感染・結核について」参加者594名 10月30日：テーマ「感染・感染性胃腸炎」「個人情報保護」参加者533名 11月26日：テーマ「医療安全管理について」「感染・手指衛生の取り組み」参加者322名 1月22日：テーマ「テーマ別分科会発表会」「感染・針刺し事例と予防策」参加者341名 2月26日：テーマ「感染・尿路感染症について」「テーマ別分科会発表会」参加者288名 3月24日：テーマ「医療機器を正しく使いこなそう」「医療ガス」「感染・手指衛生の取り組み」参加者177名	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例は、テーマ別分科会において横断的に編成された分科会委員（各部署リスクマネージャー）がテーマ別分科会で検討された分析・改善策について、MRM委員会へ報告する。MRM委員会で報告に基づいて医療事故の防止対策業務改善の検討及び推進を図る。 アクシデントについては、医療安全・管理対策委員会において問題点の分析と対応及び改善策を検討する。問題点の分析及び改善策は、各種委員会で報告する。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：趣旨、基本的な考え方、病院感染防止の体制確保、病院感染等の院内報告制度、感染リンクナースと感染リンクドクターの配置、職員研修の実施、その他の感染防止対策推進のために必要な基本方針としてマニュアルの周知徹底・医療安全管理対策委員会との連携・指針の閲覧からなる項目で構成している。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：多剤耐性菌感染症発生報告、転帰報告、感染症発生報告、針刺し事例報告、感染情報レポート報告、ICTラウンド報告、抗MRSA薬使用症例数報告からなる報告事項と、報告内容で調査検討が必要な事項の検討。ICTから出される検討事項の討議、マニュアルの改訂、追加、修正の検討。職員教育の実施状況と出席状況の確認。感染関連の消毒薬や安全器材の選定。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容： ①ウイルス感染症（ワクチン接種と感染経路別予防策）、②手指衛生、③結核の診断と予防と対策、④感染性胃腸炎の予防と対策、⑤標準予防策、⑥針刺し事例報告と予防策、⑦尿路感染症について、⑧手指衛生の取組</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTラウンドを週1回行い、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師のチームでラウンドすることにより、複数の視点で感染対策を考慮することができるようになった。 針刺し事例の多い原因器材を、安全装置付き器材へ変更することにより、針刺し事例の減少を期待している。（現在変更中） 講習会の回数を増加し、従業者が参加しやすい体制を整えている。また、講習会内容をDVDに録画し、出席できない従業者に対し貸出等を行っている。 手洗いキャンペーンの実施により手指衛生の啓発を行う。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員対象 : 1) 誤薬・誤注事例報告 (テーマ別分科会報告) 2) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順について 3) 医薬品の安全管理体制の整備 (副作用報告制度について)</p> <p>新臨床研修医対象 : 1) 医薬品適正使用への取扱いと注意事項 2) 医薬品の使用法および処方箋の記載方法 3) 医薬品の安全 4) 医薬品の副作用</p> <p>薬剤師対象 : ・医療の安全に関する事項について</p> <p>新任看護師対象 : ・薬剤の基礎知識、注意点</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>第1章 教育・研修 第2章 事故発生時の対応 第3章 外来および入院患者への医薬品の使用と管理 (患者に対する与薬や服薬説明に関する事項) 第4章 医薬品情報の収集・管理・提供 (医薬品の安全使用に係る情報の取扱い) 第5章 医薬品の採用 (医薬品の採用・購入に関する事項) 第6章 医薬品の管理 (購入管理と供給管理) 第7章 当院における医薬品の適正使用の管理 (患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項) 第8章 薬剤管理指導 第9章 他施設との連携 (他施設との連携に関する事項)</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①持参薬確認業務の標準化:院内で運用手順の標準化として改定 ②麻薬管理の適正化:術中使用麻薬の運用改定 ③土日祝祭日の抗がん剤薬剤部調整:平日投与を計画してもなおかつやむを得ず土日祝祭日に投与せざるを得ない抗がん剤について薬剤部でレジメン提出に基づく調整を実施。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：人工心肺装置及び補助循環装置の安全使用 人工呼吸器の安全使用 血液浄化装置の安全使用 除細動装置の安全使用 閉鎖式保育器の安全使用 診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用 診療用放射線照射装置の安全使用 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容：各医療機器の添付文書に記載されている年間回数及び点検項目に基づいて、医療スタッフで実施している。人工心肺装置、人工呼吸器の一部、血液浄化装置の一部、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置については外部委託を行っている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：各医療機器メーカー及び医薬品医療機器総合機構からの情報に基づいて当院で使用している医療機器の安全管理を行っている。改修・回収情報については特定保守管理機器台帳に基づいて、各部署の責任者と連携し、実施し、その内容を医療機器安全管理委員会及び医療安全管理対策委員会に報告している。また、毎月「医療機器安全ニュース」を発行し、情報の共有化を推進している。 	

昭和大学病院の医療事故等の防止・安全管理のための指針

(趣旨)

第1条 昭和大学病院は、高度の医療を提供する特定機能病院として、安全管理のための体制を確保する。

- 2 医療事故等の防止については、医療行為を行う医療従事者個人の努力が必要であることは当然である。しかし、高度化・複雑化する医療環境の中で医療従事者個人の協力に依存した事故防止のみでは対応に限界がある。このため昭和大学病院が組織的に医療事故等の防止について、患者と医療者とは同じ目的に向かって協働するという立場に立ち、患者が安心して医療をうけられる環境を整えるために、次のとおり安全管理指針を定める。

(基本的な考え方)

第2条 昭和大学病院で診療中あるいは病院内において医療事故が発生した場合、直ちに現場にいる医師、看護師、他の医療従事者、事例によっては一般人の協力を得て事故者への救命処置を行い、生命の安全を確保し、治療に最善を尽くすとともにその発生原因を調査分析し、今後の事故防止とその対応について委員会で検討するとともにマニュアル等を整備する。

- 2 患者と医療者間は協働している。すなわち密なコミュニケーションを図り、日常から信頼関係を維持する。
- 3 病院全体として医療事故防止に取り組むために、各診療科及び各職種の横断的な組織を設けて対応する。また、情報は早期に把握することが重要であるため、報告の徹底を図るとともに、報告内容の分析を通じて医療事故防止に活用する。

(安全管理の体制確保)

第3条 安全管理の体制確保のために次の委員会及び医療安全管理室を設置する。

昭和大学病院に医療安全管理・対策委員会及び医療安全管理室を設置する。

- 2 医療安全管理・対策委員会の下部委員会として副院長、各診療科、各部署より推薦されたリスクマネージャー若干名によるメディカルリスクマネジメント委員会並びにテーマ別分科会を置く。

また、必要と認めたときには専門小委員会をおくことができる。

- 3 医療安全管理室は、医療安全管理・対策委員会の指示のもとに業務を行うものとする。
- 4 病院長の管理のもと、発生した重大な医療事故について速やかに適切な対応を図るための審議は、医療安全管理室において行う。
- 5 医療安全管理室内規は別に定める。
- 6 病院長は重大な医療事故が発生した場合、事故の事実関係を明らかにし、その対応、並びに再発防止策を検討するため、専門小委員会を設置する。
- 7 組織横断的立場で、専任の医療に係る安全管理を行う者として、医療安全管理者を配置する。

(医療事故等の院内報告制度)

第4条 医療事故等の院内報告制度を導入する。

- 2 病院の安全管理を改善する事を目的として、医療事故等の院内報告制度（状況報告書（Adverse Event の情報）・インシデント報告書）を導入し病院内で発生した医療事故等を把握・分析する。
- 3 メディカルリスク・マネジメント委員会は、院内感染防止対策委員会など関連の各種委員会と連携し、医療事故等の防止にあたる。
メディカルリスク・マネジメント委員会は、原則として月1回定例会催する。なお、メディカルリスク・マネジメント委員会に関する規程については別に定める。
- 4 メディカルリスク・マネジメント委員会のもとにテーマ別分科会を設置し、報告事例について原因や状況の分析、改善策を検討する。
テーマ別分科会は原則として月1回定例開催することとし、改善対策をメディカルリスク・マネジメント委員会に報告する。

(リスクマネージャーの配置)

第5条 医療事故の防止に資するため、メディカルリスク・マネジメント委員会及びリスクマネージャーを配置する。

- 2 医療安全管理室にゼネラルリスクマネージャーを置き、医療安全管理室内規による業務を行う。
- 3 リスクマネージャーは、各診療科、部、センター及び室に配置する。リスクマネージャーは、院内報告制度に従って速やかに報告することを各部署ですすめる。また、医療事故防止対策マニュアルの見直しや現場での定期的なチェックを行い、医療安全管理体制を構築し、患者安全と医療の質向上に努める。

(職員研修の実施)

第6条 安全管理体制確保のための職員研修を定期的実施する。

- 2 全ての医療者に医療チームが患者と協働するという意識の向上を図り、医療事故防止に資する為、研修の機会を年2回以上計画的に開催する。
- 3 新規採用職員及び研修医等に対して医療安全に関する昭和大学病院の基本的な考え方、方針、事項を周知させるための研修についても計画的に開催する。

(医療事故対応マニュアル)

第7条 医療事故発生時の対応方法は、医療事故対応マニュアルに沿って対応する。

- 2 Adverse Event や医療事故等の経験した診療科・部及び室は、発生した事実について速やかに、かつ誠実に、患者、家族あるいは遺族へ説明する。

(患者からの相談への対応)

第8条 患者が安心して医療をうけられる環境を整えるために、患者並びにその家族等からの相談や苦情に速やかに適切に応じるため総合相談センター内に「患者相談窓口」を置く、患者相談窓口業務に関する規定については別に定める。

- 2 当該指針に関する閲覧について、患者及びその家族等からの申し出があった場合は、速やかにこれに応じるものとする。

また、その事務手続きは、医療安全管理室が行い、閲覧及び口頭による説明を原則とする。

- 3 患者及びその家族等による閲覧が行われた場合は、医療安全管理・対策委員会へ報告する事とする。

(その他医療安全の推進のために必要な基本方針)

第9条 医療事故防止のため、医療事故防止マニュアルの周知徹底を図る。マニュアルは、随時改訂していく。

- 2 医療チームにおける責任体制の明確化を図る。
- 3 感染に関わる事故については、「院内感染対策マニュアル」にそって対応する。
- 4 医薬品に係る安全管理体制並びに安全使用の確保の為に医薬品安全管理責任者を配置する。
- 5 医療機器に係る保守点検・安全管理体制並びに安全使用の確保の為に医療機器安全管理責任者を配置する。

附 則

1. この指針は、平成12年9月21日から施行する。
2. この改正指針は、平成15年3月20日から施行する。
3. この改正指針は、平成15年7月1日から施行する。
4. この改正指針は、平成18年7月20日から施行する。
5. この改正指針は、平成19年9月20日から施行する。
6. この指針の改廃は、医療安全管理・対策委員会の議を経て、病院運営委員会の承認を得るものとする。